

- 「地域別構想」では、全体構想(分野別方針)を踏まえた地域区分を設定し、**各地域の特性や課題を反映したより具体的な都市づくりの方針**を地域ごとに示します。
- 長南町においては、本町の都市構造を支える**主要な拠点を中心とした複数の重点地域を設定**します。

【参考】将来都市構造(第3章)における各拠点の役割

- 町役場や茂原長南ICの周辺を核として、**生活や移動、交流を支える拠点性を確保するための各拠点を配置**。

長南中心拠点	行政・文化機能や交通拠点機能を有する本町における中心的な拠点
新たな産業創出拠点	新たな産業と雇用の創出を図る拠点
地域・観光交流拠点	町内外から多くの来訪者が集い、賑わいを創出する拠点

現行計画 (H26～R7) における考え方

■ 地域別構想編 (現行計画 p. 33～p. 69)

各地域内で市街地、拠点施設等として想定する地区、及び地域を特徴づける区域として以下の地区を選定している。

1. 北部地域

→ 再編

  - ・長南地区(北-1)
  - ・圏央道インターチェンジ周辺地区(千田地区、米満地区、須田地区)(北-2)
  - ・坂本・豊原地区の複合開発地区(北-3)
  - ・太鼓森公園(北-4)
2. 南部地域

→ 再編

  - ・長南工業団地(南-1)
  - ・(仮称)都市農村交流地区(南-2)
  - ・熊野の清水公園(南-3)
  - ・笠森・野見金公園(南-4)
  - ・山内ダム及びその他中山間地域(南-5)
3. 中央部田園空間軸地域

→ 統合

  - ・埴生川流域里地地域(芝原地区を含む)(中-1)
  - ・能満寺古墳公園(中-2)

新計画 (R8～R17) における考え方 (案)

本町が目指す将来都市構造を見据えた適切な地域設定へ見直します。

- ① 長南中心拠点地域

※旧長南地区 (北-1)

対象：既存市街地エリア周辺

→行政・文化機能や交通拠点機能を有する中心拠点としての方針を示します。
- ② 茂原長南インターチェンジ周辺地域

※旧圏央道インターチェンジ周辺地区 (北-2)

対象：茂原長南IC周辺および「農産物直売所」の整備予定地周辺の一帯

→茂原長南IC周辺における「新たな産業創出拠点」としての方針を示します。
- ③ 南部地域

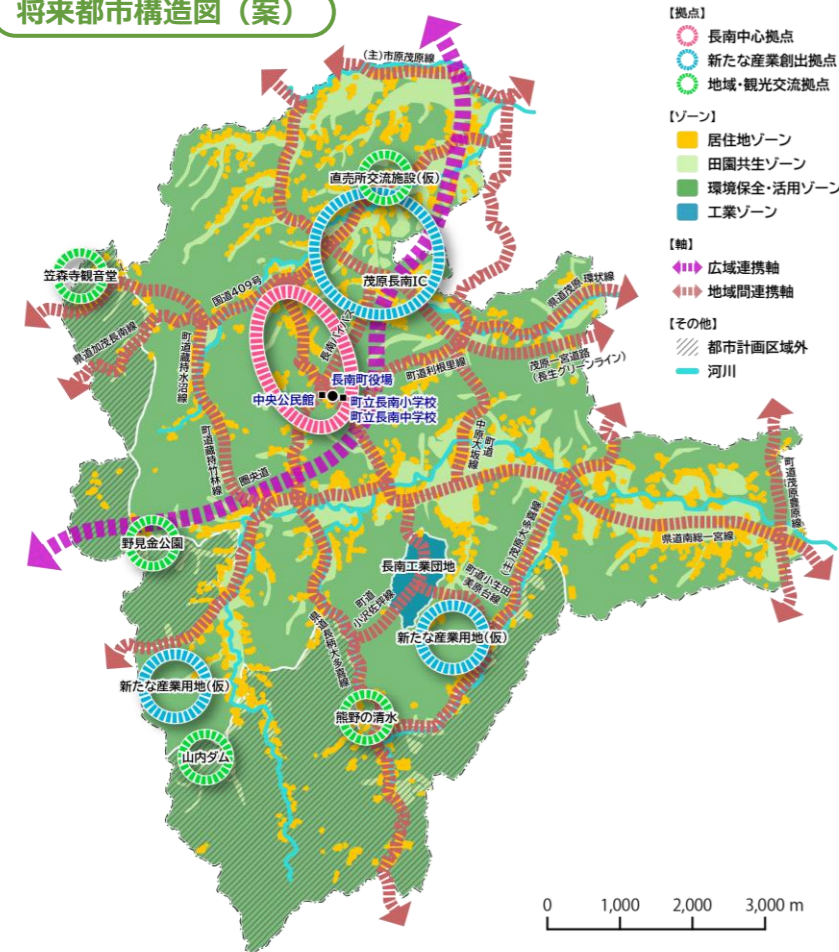
※旧南部地域 (南-1～5) および旧中央部田園空間軸地域

対象：新たな産業用地(上小野田・小生田地区、水沼・山内地区)周辺、長南工業団地周辺、山内ダム・野見金公園周辺の一帯

→2ヶ所の「新たな産業創出拠点」を有する地域として一体的に方針を示します。

※各地域の具体的な範囲は、道路線などの地形地物を基準にした上で、土地利用現況の境界などを踏まえて決定します。

将来都市構造図 (案)



■ 地域別構想策定対象位置図 (現行計画 p. 34)



重点地域の設定イメージ

